

## 22 “家族のかたち” “地域のかたち” の今

### ○開催目的

家族にはいろいろなかたちがあります。私たちや子どもたちが安心して暮らすために、地域とどのように繋がっていったらよいのでしょうか？家族に寄り添う支援や取り組みを紹介しながら、家族の多様さを見つめ、社会との関わりについて探ります。

温かい飲み物と軽食を用意し、リラックスした雰囲気の中でみなさんと語り合います。

### ○開催日時

2月14日（日）13：30～16：00

### ○参加者数・出演者・団体

参加者数 29名（参加者 23名、出演者 2名、スタッフ 4名）

出演者・団体 新部 聖子さん（スープの会）

栗澤 稚富美さん（公益財団法人社会教育協会ひの社会教育センター  
子育てカフェ「モグモグ」）

### ○プログラム内容・成果と課題

#### 1 出演者の活動紹介

現在の子育てをとりまく現状をお伝えした後、子育てひろば「子育てカフェモグモグ」の施設紹介、そこで出会った親子のエピソードなどを話したり、スープの会の活動や、いろいろな世代が集まる風まちサロンの取り組みの話から、なぜ今地域のちからが大切なのかを考え、家族にはいろいろなかたちがあってもいいのではないかと問題提起しました。

#### 2 質疑応答

#### 3 グループトーク

地域の課題をあげたり、家族、自分たちの身近にあることで、私たちにできること、今行っている活動をさらにどう深めていくかなど、それぞれが感じ、考えていることを話し合い意見交換しました。



#### 4 全体共有

グループごとに代表者に発表してもらいました。話し合ったことを共有することで、新たな気づきもありました。

## ○参加者の声

- 「新しい地域、家族のかたち」についてグループで共有できた。昔のような地域に戻るのではなく、今の時代に合った「かたち」を摸索していくことが大切なんだなと思いました。
- お二人の話からは地域の中で見守り合い、支え合って、孤立しないつながりをつくることの大切さを学んだ。グループの中でも自分がしんどかった時に支えてくれたのは、身近な家族ではなく、遠くの親せきとのLINE だったという話があった。家族がいても孤立する場合もあるし、逆に家族がいる事でしんどい場合もある。血のつながりだけでない、支え合いのかたちが大切だと感じた。
- 今後の方向性の参考になりました。
- 今まで知らなかった NPO の活動を、この分科会を通じて知りました。決まった関係だけでなく、いろいろな人たちが一緒に何かをしようというゆるやかな人間関係を築く場というのは、家族のかたちが多様化している今、とても必要なのではないかと思います。



## ○担当者・記録

《担当》	栗澤 稚富美（公益財団法人社会教育協会ひの社会教育センター 子育てカフェモグモグ）
	新部 聖子（スープの会）
	志田 五十鈴（こまえボランティア・センター）
《運営サポート》	柴田 健次（東京都社会福祉協議会）
《記録》	栗澤 稚富美（公益財団法人社会教育協会ひの社会教育センター 子育てカフェモグモグ）
	脇田 恵（東京ボランティア・市民活動センター）